



No.105

市政の窓

「新型肺炎」

新型コロナウイルス ウイルスによる肺炎は昨年12月下旬には中国・湖北省武漢市での集団発生が認められており、日本で報道され始めたのは中国人が世界大移動をする春節期の1月下旬でありました。それからというもの連日感染状況が大きく取り上げられ、今まさに全世界を震撼させております。

SARS（重症急性呼吸器症候群）やMERS（中東呼吸器症候群）より致死率は低いと言われておりますが、2月19日現在、世界で感染者数7万4000人超・患者死亡数2000人超。感染力が強い上、潜伏期間も長く、無症状者も多数あるため、今後

も感染経路が判明しない患者がたくさん増えると予想され、さらなる不安が募ります。

令和最初でしかも還暦を迎えた天皇誕生日の一般参賀や、英断により国難を救った勝浦市でのビッグひな祭りの中止は誠に残念であり、芸能界においてもアイドルグループ「嵐」が4月に予定していた北京公演の中止を発表。スポーツ界でも3万8000人が参加予定でありました本日開催の東京マラソンも、エリートランナー200名余りのみの参加に縮小されるなど、人が密集する各種大規模イベントの開催有無が取り沙汰されております。そうした中、今一番懸念するのが東京オリンピック・パラリンピックであり、早期に新型肺炎の終息宣言が欲しいところです。

治療薬が開発途上

ある今、自己予防に努める他ありません。特に重症化しやすい高齢者や、糖尿病・呼吸器疾患のある人は注意が必要であります。外出はなるべく控え、人混みを避け、マスク着用、手洗い消毒とうがいはい入念に行いましょう。

もし風邪に似た症状や37.5度以上の熱が4日以上続いたとき、強いだるさや息苦しさを感じたときは、医療機関受診前にまずは海軍健康福祉センター八日市場地域保健センター（☎72・1281）、または市の新型コロナウイルス感染症対策本部事務局の健康管理課（☎73・1200）の相談窓口へ連絡してください。

卒業式や年度末行事を無事に終え、心身共に健康で明るい希望に満ちた新年度を迎えられるよう力を合わせ頑張ります。

匝瑳市長 太田安規

野手を歩く 眼病の仏様

匝瑳探訪 166



野手内裏塚の薬師堂

眼病を治す御利益があり信仰を集める神社や寺院は、現代でも数多くあります。他方、かつては信者でにぎわったと伝わるものの、その存在を忘れ去られた社寺も少なくありません。

1980年代に『東総の四十九薬師』（大木衛・高森良昌著）、「房総の万病平癒御利益寺社巡り」

（川村純一著）が相次いで出版され、市内の調査に関係してから30数年ぶりに野手・内裏塚の薬師堂を訪ねました。

江戸時代後期に建てられたと見られる薬師堂があるのみで、かつて鈿子市常世田町・常灯寺の薬師如来像（国の重要文化財）とともに「下総三薬師」、あるいは「海岸の三薬師」として広く信仰を集めた

などとは知られていないものの、1921（大正10）年刊行の『匝瑳郡誌』に「縁日は陰暦六月十一日なり」と記載され、當時はかなりの信仰があったと推察できます。そして「下総四十九薬師」や「東総四十九薬師」霊場の一つにも数えられています。

眼病の仏様では大寺・龍尾寺のように、弘法大師空海が霊水を湧き出させたという伝説もあります。

下総四十九薬師や東総四十九薬師の霊場巡りがいつごろ構成されたか全体像など不明ですが、東総に限ると番外を含め四十九薬師の約3割が市内にまつられ、広く信仰されてきたことが知られます。

絶えずきれいな清水が湧き出て目を洗うと眼病が治ると信じられていたと言います。

堂の由来

【訂正とおわび】
本紙1月号掲載の写真説明で、「権現造り」とあるのは「神明造り」の誤りでした。訂正し、おわびします。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）

問秘書課広報広聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一 推薦

満開の蟬梅ありて春近し

淡い黄色があたりを包む

背伸びしてラクダの背中に手をふれて

夫と遊んだ御宿の浜

読み聞かす絵本めくればストーブも

児らのほっぺも赤く染めてく

カレンダールの巻きぐせ少しゆるびをり

白梅開く立春の朝

病窓に秀峰筑波眺めつつ

妻と登りし遠き日おもふ

駅からは徒歩十分で家着くに

寄り道多く夫は三時間

満月が里山照らす寒き朝

恩受けし師の冥福を祈る

暖冬に早や繚乱の野水仙

われもと如く椿咲き継ぐ

曇りたる傘を綱代りに老夫婦

皇居見学の坂道歩く

近隣の銚子干潟と茂原より

特攻発ちしを知覧にて知る

小さき頃母につれられ墓まいり

祖母なる人は多古に住み居て

古谷由美子

川口 登喜

小川 一夫

宇野とし子

椎名 昭雄

鈴木 和子

大木 洋一

川口城司 推薦

小川 知至

伊橋 良子

石田 治

小川 まき

俳句

高安せい子 推薦

寒の水停年のなき厨事

梅ほころぶガードレールの凹みかな

一枚の海へ没るや節分会

早春の日差しをはしく高架線

この空もアフガンの空冬の鳥

アフガンに斃れし人や冬銀河

母帰る畦焼きの臭ひを身にまどひ

川口城司 推薦

玄関にセンリョウ置き春を待つ

真夜二時の冬空裂いて行く何か

川柳

勝又康之 推薦

間違ったふりて夫に鬼は外

朝夕の二度の散歩で風邪ひかず

庭先で春を告げてるホウホケキョ

同窓誌先ず見開きは計報欄

二センチの雪に滑って医者通い

ファミレスで一人寂しいバースデー

退職し雨音楽し朝の風呂

川口城司 推薦

砂だらけ毛だらけだけとネコが好き

岩井 やす

安藤 建子

大川 宣子

椎名 晴江

山崎智恵子

那須 恒雄

椎名 貴寿

野仲 妙子

石田 健

鶴澤 澄子

江波戸京子

岡田けい子

椿 謹二

佐久間美智子

松野 敏昭

安藤 幸雄

石田 津

おすすめの本

『発達障害に生まれて
自閉症児と母の17年』
松永正訓／著 中央公論新社

幼児教育のプロである母が、自閉症の子を授かりました。その子育ての17年の足跡です。私たちの「普通」という価値基準が問われます。2019年度第8回日本医学ジャーナリスト協会賞(大賞)受賞作です。

『「片づけられない…」を
あきらめない!』
西原三葉／著 主婦と生活社

発達障害のため片づけられなかったADHD(注意欠陥・多動性障害)の著者が、自らの経験に基づいて、片付けのノウハウを紹介します。

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



- 休館日…5日(木)・毎週月曜日
- 祝日開館日…20日(金)17時まで
問 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

図書館カードの登録内容確認

春は、門出の季節です。図書館カードの登録内容(住所・氏名・電話番号など)に変更が生じた場合は、変更届を提出してください。

“さわる絵本”

「こどもの本」の一角に、触れて楽しむ絵本を集めたコーナーを設けました。貸し出しできる本もあるので、ぜひご利用ください。また、点字の本もあり、『てんじ手作り絵本 かいてみようかんじ1~7』(桜雲会)では、点字で漢字の書き方が学べます。

芥川賞・直木賞

1月15日に第162回芥川賞・直木賞の受賞作が決定しました。芥川賞『背高泡立草』(古川真人著)、直木賞『熱源』(川越宗一著。第9回本屋が選ぶ時代小説大賞受賞)は、八日市場・のさかの両館で所蔵しています。貸し出し中のときは、予約ができます。

3月の「おはなし会」

- ★ 八日市場図書館
毎週土曜日14時から約30分間
- ★ のさか図書館
第4土曜日10時30分から約30分間